



2026年のスタート



あけましておめでとうございます。子供たちは充実した冬休みを過ごしてきたことと思います。本日から2026年の学校生活がスタートしました。今年の干支の「午」は、一日の中では正午（真昼）に当たり、太陽の光が最も強くなる時間帯を差します。そのため、午年は活発で前向きな年、努力が形になりやすい年と言われるそうです。今年度の学校生活も残り3か月となります。子供たちが進学や進級に向かっての希望を持ち、1年間の締めくくりをしっかりと行えるように、教職員一丸となって取り組んでまいります。今年もご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

全校集会での校長の話

みなさん、あけましておめでとうございます。

冬休みは、元気で過ごしていましたか。2026年令和8年がスタートしました。

年の初めは、新しい気持ちで、頑張ろうという気持ちが湧いてきます。なりたい自分に向かって目標を立てましょう。

今、校庭の桜の木の芽は、寒さにじっと耐えて冬をこそうと頑張っています。桜の木は、冬の間何もしないわけではなく、花を咲かせるためのエネルギーをぐっとためているのです。

みなさんも同じです。3月までの頑張りによって付けた力が、新しい学年につながるのです。

それでは、なりたい自分に向かう目標を決める時に、ヒントにしてもらいたいことを話します。

まずは、校長先生がこれまでもずっと言い続けてきた「**幸せになるための3つの力**」です。

1つ目の「**自分で考える力**」。難しいと思うことでも、人任せにしないで、まずは自分で考えましょう。

2つ目の「**相手を思いやる力**」。相手の気持ちを想像して、やさしく温かく友達と接しましょう。

3つ目は「**挑戦する力**」。粘り強く挑戦しましょう。失敗しても大丈夫です。やり直していいのです。頑張るということを大切にしましょう。

そして、もう一つ、学年のまとめに向けて頑張ってもらいたいことがあります。

それは、「**相手のことを大切にして聴く**」ということです。この「聴く」はただの「聞く」ではありません。

聴くという漢字をよく見てみましょう。何か合体しているものが見えてきませんか。耳と目と心と十です。聴くときには、耳だけではなく、目で話す相手をしっかりと見て、心で「こういうことを話したいんだね。」と感じ取る。それを、十分にたくさん聴きましょうということです。

お話を聞くとときには、話している人のことを大切にして聴きましょう。話している人も安心して話すことができます。

さあ、3月までに、どんな自分になりたいですか。そのために、どんなことを頑張っていきますか。6年生は中学生に向けて、1～5年生のみなさんは、一つ上の学年に向けて、どんな成長をするのかな。とても楽しみです。

みなさんにとって、よい年になりますように、願っています。

